HIROTSU
BIO SCIENCE

2020 年 3 月 9 日
株式会社 HIROTSU バイオサイエンス

第三者割当増資の実施について

事業拡大と、新たな領域に挑むための協業体制を構築

高精度かつ安価に早期がんのリスク判定を行う検査『N-NOSE ®』（エヌノーズ）を本年 1 月に実用化した株式会社 HIROTSU バイオサイエンス（本社：東京都港区、代表取締役：広津崇亮、以下「当社」）は、このたび約 9 億円の第三者割当増資を行いました。主たる割当先は次の通りです。

トッパン・フォームズ株式会社（東京都港区：代表取締役社長　坂田甲一）
SOMPO ホールディングス株式会社（東京都新宿区：グループ CEO 執行役社長　櫻田謙悟）
第一生命保険株式会社（東京都千代田区：代表取締役社長　稲垣精二）

今回の第三者割当増資は、『N-NOSE』検査装置の追加購入および次世代がん種特定検査の研究開発、また各社との協業体制構築等、当社事業のさらなる充実を図るために実施いたしました。

当社は、社会の課題である「がん」の早期発見・早期治療が当たり前になる未来を目指しており、そのためには、がんを取り巻く社会全体の在り方をより良くしていくこと、予防から検査、治療、治療後のフォローに至るまでをサポートしていくことが重要であると考えています。今後、当社は『N-NOSE』検査体制の強化はもとより啓発活動にもより注力し、協業各社と連携しながら新たな取り組みを行ってまいります。

■線虫がん検査「N-NOSE」について

当社は、線虫ががん患者の尿に誘引され、健常者の尿には忌避する特性（化学走性）を利用した検査『N-NOSE』（エヌノーズ　以下、「当検査」）を 2020 年 1 月に実用化しました。当検査は簡便で安価、15 種類のがんを早期の段階から検知する優れた特長を持ち、解析症例数約 3,000 検体（※1）において、感度および特異度（※2）が約 85%と高精度であることが最新の臨床研究の結果より得られました。これが一般に普及すれば、がん検診受診率の飛躍的向上と、早期がん発見率の上昇、がんの死亡者数の激減、医療費の大幅な削減が見込まれると期待されます。

※1　2019 年 9 月末日時点の検体数

※2　がん患者をがん患者と見分ける確率（感度）と、健常者を健常者と見分ける確率（特異度）

＊『N–NOSE』は株式会社 HIROTSU バイオサイエンスの登録商標です。

＜報道機関お問合せ先＞
株式会社 HIROTSU バイオサイエンス　広報室
〒107-0062　東京都港区南青山 2-24-11　フォーラムビルディング 2F
E-mail：press@hbio.jp